

## 企業理念

- 人に興味を持とう
- 新しいことに興味を持とう
- 未来に興味を持とう

## 行動指針

人間は面白い。  
その面白い人間が作っているのが企業であり、また顧客です。  
全ての経済原則、経営理論は、人の行動原理に基本があります。  
人に興味を持とう。

新しいことはワクワクする。  
技術革新や商品開発は顧客や市場を開拓すると同時に、人間も活性化します。  
新しいことに興味を持とう。

未来を考えることは楽しい。  
未来は子供たちのものです。  
未来を考えれば、人も企業も自分だけでは生きて行けないことが分かります。  
顧客の発展が無ければ、当社は富んでも長続きしません。  
更に、社会に生かされなければ、人も企業も存続し得ません。  
未来に興味を持とう。

一方、当社には1968年に制定した、社是〈必達〉が存在します。  
上記の企業理念と共に、歴史ある社是〈必達〉を、誇りを持って遵守しています。

## 社是



私たちはカラーエイジを担う大日精化の社員として  
〈必達〉の社是のもとに誇りを持って仕事をすすめよう

- 1、仕事は必ず目標を立てこれを必達しよう
- 1、正しい製品知識を身につけ製品普及のチャンスを積極的に求めよう
- 1、仕事を通じ製品を通じて会社の信用を更に高めよう
- 1、社会人として常に教養を高め反省を深める機会を持とう
- 1、仕事を通じて社会に貢献し大日精化を最高の企業体としよう

### 編集方針

当社グループでは、2006年3月期から「環境報告書」を発行し、時代のニーズに合わせて「社会・環境報告書」、「コーポレートレポート」、「統合報告書」と開示内容の充実に努めてきました。当社グループの戦略や実績などを財務・非財務の両面から示すとともに、特集ページを設けて当社グループの事業やその成長性などを報告しています。なお、本報告書は、取締役会での審議を経て、冊子や電子データとして開示しており、監査法人による監査は受けておりません。

### 報告対象範囲

当社グループを対象としています。

### 報告対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日(2024年3月期)

※ただし、一部事柄については、本対象期間外の活動も含まれます。

### 発行

前回：2023年9月 今回：2024年9月 次回：2025年9月予定

### 参考ガイドライン

- VRF (Value Reporting Foundation)  
[国際統合報告フレームワーク]
- 経済産業省  
[価値協創ガイダンス2.0]
- GRI (Global Reporting Initiative)  
[サステナビリティ・レポート・スタンダード]
- 国際標準化機構  
[ISO 26000] (社会的責任に関する手引き)

■ 外部評価

「健康経営優良法人2024 (大規模法人部門)」に認定

[FTSE Blossom Japan Sector Relative Index]の構成銘柄に継続選定

[S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数]の構成銘柄に選定

CDP2023 [気候変動]にて [Bスコア]を取得

■ 外部イニシアティブへの参画

「国連グローバル・コンパクト」への署名

[TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース)]への賛同

「パートナーシップ構築宣言」への参加

「クリーン・オシャン・マテリアル・アライアンス (CLOMA)」への参画

■ 参加団体

(一社) 日本化学工業協会  
化成工業協会  
(一社) 日本流行色協会

日本ポリエチレン製品工業連合会  
PETトレイ協議会  
印刷インキ工業会

■ 第三者検証

当社は情報開示の信頼性を高めるために、温室効果ガス排出量の第三者検証を受けています。

検証機関	対象事業所
㈱日本スマートエナジー認証機構	東京製造事業所
日本化学キューエイ㈱	大日カラー・コンポジット㈱ 加須製造事業所

## CONTENTS

### 大日精化工業について

ブランドメッセージ	01
身の周りにある大日精化工業	03
企業理念／行動指針／社是	05
Top Message	07
これまでの歩み	11
価値創造プロセス	13

### 戦略・技術

長期ビジョンと前中期経営計画の振り返り	15
新3か年中期経営計画「明日への変革 2027」	17
CFO Message	21
製品を支える技術と研究開発	25
セグメント紹介・戦略・KPI	27
特集 製品を支える技術	33

### CSR・ESGの取り組み

CSR・ESG推進本部インタビュー	36
CSR・ESGの考え方	39
CSR・ESGのマテリアリティ (重要課題)	40

### E 環境

環境マネジメント	43
TCFD提言への取り組み	45
生物多様性の保全	47
サーキュラーエコノミー推進	48
化学物質管理	49

### S 社会

お客様との関わり	50
従業員との関わり	52
サプライヤーとの関わり	58

### G ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	59
コンプライアンス	71
リスクマネジメント	72
ステークホルダーとの対話	73
株主・投資家との対話	75

### DATA

非財務データ	76
10年間の主要な経営指標等の推移	79
会社概要／株式基本情報	81
グループネットワーク	82